

現象

処置

1. 連結が出来ない

キングピンサイズが違う	正規の組み合わせにする
ジョー内径にバリがある	バリをヤスリ等で取り除く
ジョーピンの給脂不足により ジョーが固着している	分解し、錆取り後給脂する
斜め連結・凸凹路・坂道である	平坦路で直線にバックして連結する
連結直前に開放レバーが戻る	連結時の衝撃で連結前にレバーが戻る 場合があるので、連結スピードを落とす
ジョーが閉じている	レバーを引いてロックを解除する
ヨークが完全に入らない	<ul style="list-style-type: none">連結スピードを落としてみるジョー内径にバリがないかジョー内径調整時に、内径が小さく なりすぎていないかヨーク交換時にヨーク外側を削りながら 調整したか操作レバー関係をワイヤーケーブルに 改造していないかヨークシャフトが変形していないかレバーが変形していないかスプリング類のヘタリ、破損がないか

2. 連結が外せない

ジョーピンの給脂不足により ジョーが固着している	ジョー後側の合わせ目にボール等を こじ入れてジョーを開き、切り離した後、 分解し給脂をする
斜め連結・凸凹路・坂道である	平坦路で切り離し作業を行う
レバーが重くて引けない	キングピンがジョーを後に引っ張っている為 ハットをゆっくりバックさせ、引っ張り合いを 解消する
操作レバー関係をワイヤーケーブルに してあり、ワイヤーケーブルの動きが渋い	オリジナルのレバーに戻す
部品の変形、脱落	確認し、修理する

現象

処置

3. 走行時にトレーラが外れた

不完全連結のまま走行
(車両の状態にも因りますが、
平坦路の直進において、摺動面の
面圧だけで走行出来てしまう
場合があります)

ドライバーが車両を離れた後
再走行して外れた

各部の磨耗が著しく、部品が破損、脱落した

- ・ 破損、変形部品を修理後
再度完全に連結する
 - ・ 連結時、ランプの点灯確認と目視確認を
必ず行う
 - ・ いたづらをされた可能性があるので
乗車前に必ず確認する
 - ・ レバー部に鍵を付ける等の防止策を講じる
- 定期点検、調整を履行する

4. 走行時に異音がする

トレーラからの突上げによる異音

カプラ摺動面のカジリ音

段差乗り越え時の叩かれ音

各作動部品からの音

ジョー関連、軸受部の磨耗が考えられます
点検修理を実施

カプラ、トレーラ両面を滑らかに修正し
グリースを充分塗布

軸受部のラバーの磨耗が考えられます
ラバー等の部品交換

点検して給脂をする